



桜丘小たより

= 笑顔に会える学校 =

令和元年5月7日

第 2 号

枚方市立桜丘小学校

校長 中村 尚

<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000007788.html>

TEL 050-7102-9028

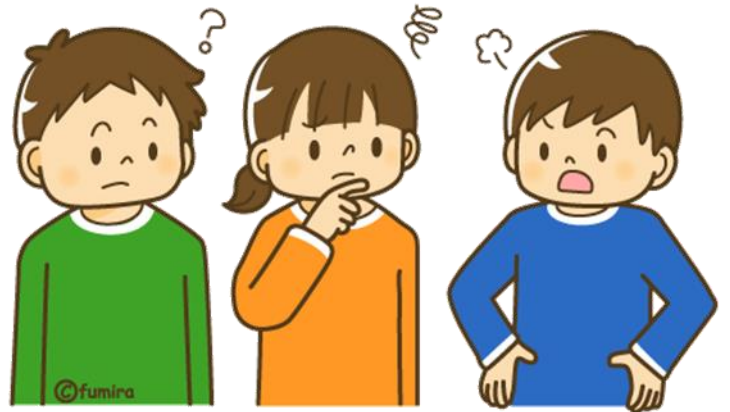
しながっき はじまり1かげつ

新学期が始まり1ヶ月がすぎました

すこしふりかえって

少し振り返ってみましょう

みなさん、クラスや友達^{くらす ともだちどうし}のなか
で心^{こころ}がチクリと痛む^{ちくり いたむ}「ことば」はありませ
んでしたか？ じょうだんで、はやした
てたことはありませんでしたか？ ひと
を傷^{きずつける}つけるおこない(さけるとか、むしと
か、にらむとか)をしませんでしたか？
「ことば」を^{はった}発した人^{ひと}や、おこないをした



人には「じょうだんやん」「あそびやん」「本^{ほん}気やないやん」と言う人^{いうひと}もいるでしょう。さらに、
「わたしも(ぼくも)よくやられる。でも、べつにきにしないし。」という人もいるかもしれませ
ん。

でも、それでいいのでしょうか？ 心^{こころ}がチクリと痛む^{ちくり いたむ}「ことば」だまれ うっせー
死^しね むかつく きもい どっかいけ とか をいったとき、いわれた^{ひと}人はとても
つらい思い^{おもい}をします。言った^{いった}人はそんなに悪い^{わるい}ことをしたと思^{おも}っていない場合^{ばあい}があります。
ぼくも(わたしも)いわれた^{いわれた}ことある。よくいわれる^{いわれる}。と考^{かんが}えている人^{ひと}もおおくいます。この
場合^{ばあい}、じぶん^たが他のひとに心^{こころ}がチクリと痛む^{ちくり いたむ}「ことば」を言^{いった}ったことをそのまま言^{いわ}れただ
けだ^{ちくり いたむ}とがま^{ちくり いたむ}んできるかもしれませ^{ちくり いたむ}ん。しかし、チクリと痛む^{ちくり いたむ}「ことば」をた^{ちくり いたむ}くさんの人^{ちくり いたむ}に
言^{いわ}れたら^{いわれたら}どう^{ばあい}でしょうか。この場合^{ばあい}、言^{いった}ったひと^{じぶん}は自分^{じぶん}だけが言^{いった}った訳^{わけ}ではないと、より

じぶん 自分
自分のしたことの^{おもさ}重さを^{かるく}軽く^{かんじ}感じ^{ぎみ}ぎみです。しかし、これは”いじめ”です。”いじめ”は、^ししている^{がわ}側^{ひと}の人は^{おもって}しんこくに^{おもって}思っていない^{ひと}ません。でも、^{ひと}されている人は^{おも}たいへんです。”いじめ”につながる^{ゆるされる}ことばやおこないは^{ぜったい}けって許される^{おも}ものではありません。絶対^{おも}にしては^{おも}いけません。

わたし(ぼく)はそんなことを^{いった}言った^{おも}こともないし、^{おも}したこともないというみなさんへ。あなたの^{まわり}まわりで、^{こころ}心^{ちくり}が^{いたむ}チクリと^{おも}痛む「ことば」は^{おも}なかったですか。ひとが^{おも}いやだ^{おも}なと思う^{おも}おこないは^{おも}なかったですか。もし、そのようなことがあったとき、「それはおかしいからやめようよ」と^{こえ}いう^{こえ}声を^{こえ}あげて^{ゆうき}ほしい^{ゆうき}のです。勇気が^{ゆうき}いる^{ゆうき}かもしれません。でも、ひとりひとりが^{おかしい}おかしいことを^{かんじ}おかしいと^{かんじ}感じ、それを^{ことば}言葉に^{たいせつ}できることは^{たいせつ}とても^{おも}大切だ^{おも}と思っています。

^{おおく}多く^{ひと}の人と^{せいかつ}生活^{うへ}していく^{うへ}上^{うへ}では、^{じぶん}自分の^{きもち}気持ちを^{きもち}しっかりと^{ことば}言葉に^{ことば}していく^{ひつよう}ことが^{ひつよう}必要^{ひつよう}です。みなさん一人一人が^{ひとりひとり}自分の^{きもち}気持ちを^{きもち}言葉に^{きもち}してい^{きもち}きましょう。そして、みなさん一人一人が^{ひとりひとり}他の^{ひと}人の^{きもち}気持ちを^{きもち}しっかりと^{きもち}聞き^{きもち}きましょう。そうすることで、^{きもち}みんなが^{きもち}気持ちよく^{せいかつ}生活^{せいかつ}を^{せいかつ}することが^{せいかつ}できます。

ともだちをやさしく^{ことば}つつむ、フワフワ^{しって}言葉^{しって}って^{しって}知^{しって}っていますか？ ^{げんき}元気が^{げんき}でたり、うれしく^{げんき}な^{げんき}ったりする^{ことば}言葉^{ことば}です。



ありがとう



がんばって



よかったね



その^{ちょうし}調子



だいじょうぶ

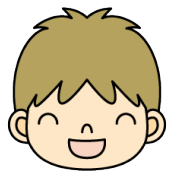


ごめんね





いっしょにがんばろう



たの
楽しいね とか



そんなフワフワ言葉があふれる学校だったらどんなに素敵かなあと思います。みなさん
もちくちくことばではなく、ふわふわことばをたくさん使いましょう。そしてやさしさのあふれた
学校にしていきましょう。

赴任された先生方

星加 良子 先生(5・6年 音楽)

吉田 葉子 先生(5年生理科)

山本 結万 先生(栄養教諭)

林 智子 先生(支援学級)

かていほうもん

家庭訪問ありがとうございました

ごたよう なか かていほうもん ごきょうりよく たいへんかんしゃもうしあげます かていほうもん
ご多用の中、家庭訪問にご協力をいただき大変感謝申し上げます。家庭訪問にて
おきき こんご じどう しどう いかして ぞんじて
お聞きしたことがらを今後の児童への指導に活かしていきたいと存じております。また、
ふだん子ども達が登下校している道を通ることで、子ども達のふだんの生活などへの
りかい ふかまった おもって
理解が深まったと思っております。

さらに、緊急時にご家庭への訪問が必要になりましたときには、スムーズに訪問でき
みこみ たちました おかげさま ぶじ かていほうもん おえる
る見込みも立ちました。お陰様をもちまして、無事に家庭訪問を終えることができましたこ
あらためてふかくかんしゃもうしあげます
と改めて深く感謝申し上げます。